

御挨拶

島根あさひ社会復帰促進センター
センター長 谷本 繁二



四月一日
付けてセンター長として着任した谷本です。

前任地はうぶん県高松市ですが、生まれは岡山で親の転勤に伴い多感な思春期の小五から中三までを松江市で過ごしたことから、島根県は甘酸っぱい思い出と共に第二の故郷と思っています。

地域の皆さんに支えられながら成長し十四年目を迎えるこのセンターで勤務出来ることは大変光栄であり、また海あり山ありの豊かな大自然に囲まれて温泉三昧の生活は毎日
が合宿のよう
でわくわくして
います。



趣味はテニスで年齢的にも全く伸びしろのない初心者ですが、旭公園の素晴らしいコートでお相手してくれる方を探しています。

当センターと地域の皆さんが共に築き上げてきた様々な交流行事などはコロナ禍で中止されていますが、昨今世の中はコロナとの共生に舵を切り始めており、一日も早い再開が待ち遠しい
ところ
です。そ
の折にはご支援
ご協力
どうか
よろしく
お願い
します。



ごあいさつ

島根あさひ社会復帰促進センター
総務部長 矢嶋 光隆



このたび、センターの総務部長に就任しましたが、開所時の二年間も勤務しておりましたので、十二年ぶり二回目の旭町住民となります。

前回は家族同伴で子供も旧今市小学校やあさひ子ども園に通学・通園し、旭温泉に通うなど、町全体にお世話になりました。そんな子供達も成人する歳となっておりますが、今でも「あさひが懐かしい。」と言っており、ここが「第二の故郷」になっています。

今回は四年後の本PFI事業の終了を控え、センターのオープンから携わった者としては、「何を残して次に何を始めるのか。」を考えなければなりません。ここにセンターがある以上は旭町の皆様の御理解と御協力が必要となりますので、何卒、お力添えのほどよろしくお願い致します。

お世話になります。

島根あさひ社会復帰促進センター
矯正処遇部長 國村 稔記



本年四月一日付けで山口刑務所から当センター矯正処遇部長に就任いたしました。出身は山口県で、島根県民となるのは二度目(前回は松江でした)、二十年ぶりとなります。

今から十七年前、旭拠点工業団地に当センターを建設することが決定した時、当時、広島矯正管区で勤務していた私は、地域の皆様に矯正施設に対する理解を深めていただくことと旭町役場の職員の方に旭ふるさと祭りで矯正展の開催をお願いしたことがあります。当時は旭ICの周りに広大な更地が広がっていたので、十七年の月日を経て、地域の皆様方から御支援と御協力を賜りながら施設が地域に溶け込んでいく様子を見ると、感慨深いものがあります。

今回、当センターで勤務する機会に恵まれましたので、地域の皆様から、「センターと一緒に活動したい」、「センターが私たちの町にあって良かった」と実感していただけるような取り組みをしたいと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

御挨拶

島根あさひ社会復帰促進センター
更生支援企画官 松原 明彦



本年四月に人吉豊芸学院(熊本県球磨郡の少年院)から異動となり、更生支援企画官として勤務しております。

出身地は鹿児島県です。昭和五十六年四月、府中刑務所に採用となり、今年度で四十二年目の定年の年を迎えています。拜命以来、東京管内、名古屋管内、高松管内、大阪管内及び福岡管内の刑事施設において勤務し、定年最後の年を広島管内の当センターでの勤務となりました。

初めての官民協働の施設での勤務となり、不安いっぱいの手さぐり状態の勤務となつています。官民協働の理念を忘れることなく、少しでもセンターと地域の皆様のお役に立てよう努力する所存でございますので、御指導方、お願いいたします。

はじめまして

島根あさひ社会復帰促進センター
庶務課長 南 琢



この四月に、庶務課長として着任しました南琢(みなみたく)と申します。出身地は兵庫県です。広島で採用となり、広島のほか鳥取と山口(前任地)で勤務してきました。

これまで、異動による転居を繰り返してきましたが、旭町(浜田市)で生活するのは初めてのため、ここでの生活を楽しく転居して参りましたので、色々な場所を訪問するなどして、旭町での生活を楽しんでいきたいと考えています。

庶務課長として、行事等で皆様にお会いする機会も多くあると思ひます。よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします!

島根あさひ社会復帰促進センター
処遇次席 佐々木 大知



隣県山口の美祢市から、日本海の水平線に吸い込まれる見事な夕日に心を洗われつつ参りました。

官民協働施設での勤務は連続二回目となりますが、前任地では、さまざまな交流を通じて、施設が地域の方に支えられていることを実感しました。当地においても、センター職員として、浜田市民として地域の方と共に歩んでいければと思います。

先日、宮城の実家に引越しの報告をしたところ、両親から「あんだ、熊みだいな見た目してっから、間違つて狐友会の人さ撃たれんよ!」と忠告されました。散歩が好きで市内をウロウロ歩き回ることもあり、万一遭遇しても、死んだふりは不要かと思ひますので、安心願ひします。

帰ってきました。

島根あさひ社会復帰促進センター
作業首席 細田 尚徳



平成二十年九月から平成二十二年三月まで警備主任として当センターで勤務していましたが、その当時から勤務している方たち(国、民間問わず)の懐かしい顔を拝見して、改めてセンターの開設前に訓練生の動作規制等をどうすればいいか、逃走経路はないか等様々な訓練を実施し、問題点を探していたのですが、あれから十数年の月日が経ち、当時とは違った問題点が出てきていると思ひますので、それらを一つ一つ解決することと、当センターの理念である地域との共生を大事にして、今の立場で地域に何ができるのかというのを考え、わたくしの出身地である「島根県」を少しでも明るくできたらなと思ひますので、よろしくお願ひします。



